

---

R5  
ICT活用例  
「ロイロノート・スクール」

---



群馬県立聾学校

# ロイロノート・スクールの**実践**



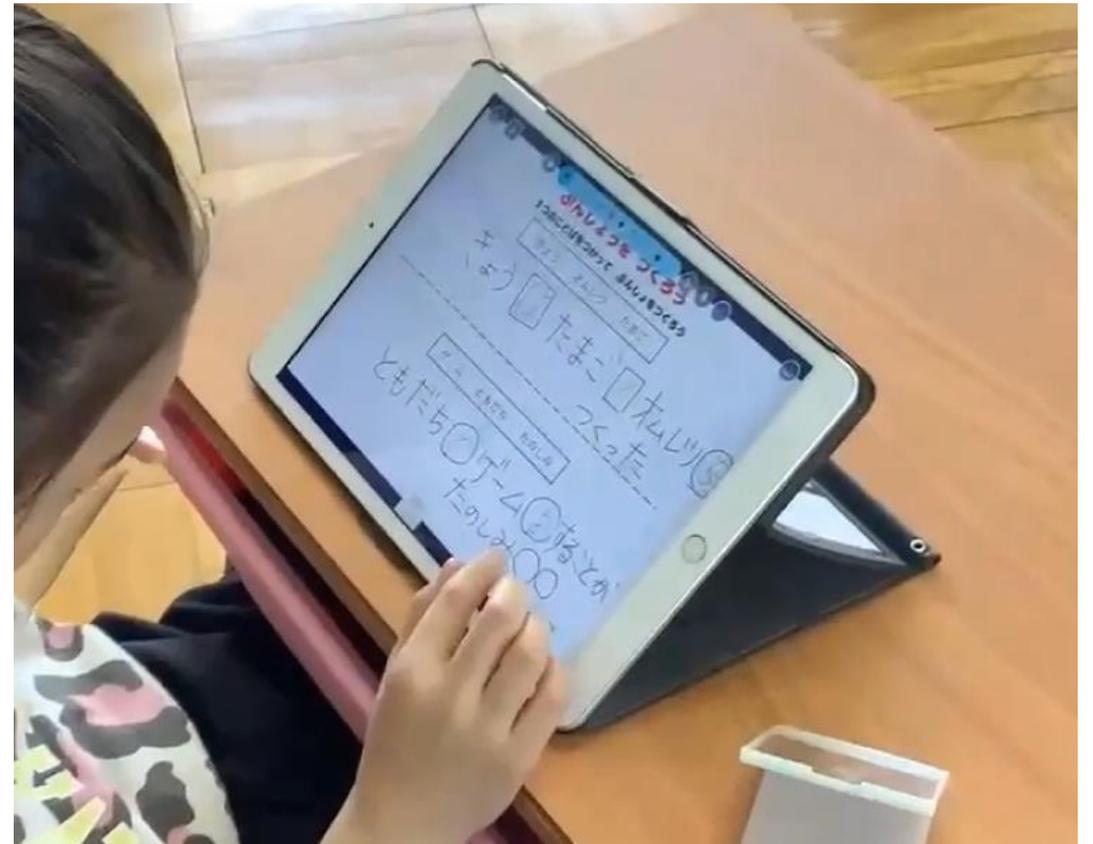
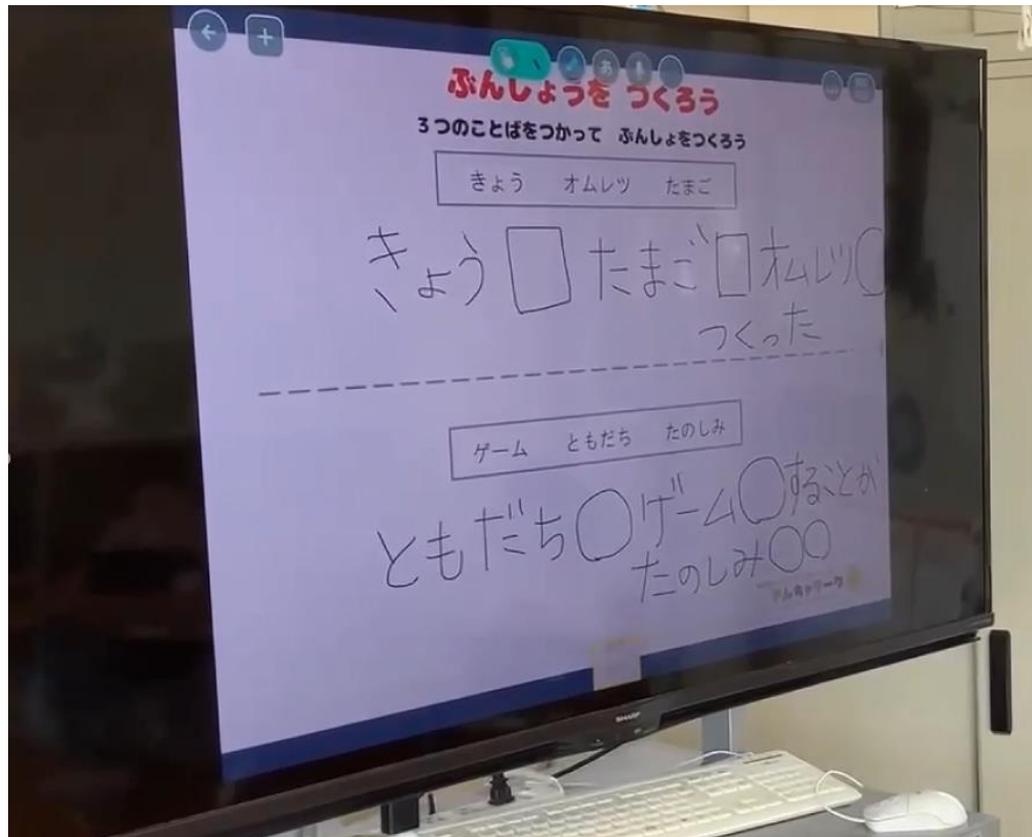


カードやPDF、写真、動画をつなげてプレゼン

カードの中にカードを入れて組み合わせたり、カードをつなげてスライド完成。短い時間で発表できます。

# ロイロノート・スクールの実践

## 「カード」に記入してデータ送信、発表



# ロイロノート・スクールの実践

## 生徒同士が「カード」で意見を共有

自分の考えをカード  
にまとめてデータで  
提出



リアルタイムで意見  
の共有

13:57 6月17日(金) 98%

終了 編集 配信停止

4/4

<p>これから夏に迎え、光が強くなり教室が明るくなる。その上、さらに電気を使うと明るすぎるという声が上がることがあるのでその時は電気無しでも大丈夫なので使う時を減らす。 教室移動の時は忘れずに消す。</p>	<p>教室で人がいない時は電気や扇風機を消す。 パソコンの電源を消す。</p>	<p>一人一人が学校や家で出来ること</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 部屋から出る時や使わない時は電化製品の電源をOFFにすることを心がける。</li><li>• なるべく長い時間で電気を使わないようにする(早く寝るなどの工夫)</li><li>• 電化製品に低電力機能が有れば使うようにする。</li></ul>
生徒A	生徒B	生徒C
<p>天気の良い日は太陽の光で照明の代わりにする。 自己発電(現実では難しいかも?) これから暑くなるから窓を開けて風通しを良くする 使わない電化製品はコンセントを切る。</p>	<p>教室で誰もいなかったなら電気を消す。</p>	
生徒D	生徒E	



## カードの送受信

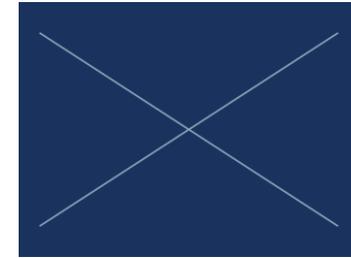
思考ツール上にカードを置くことで、考えを可視化。  
カードを教師・生徒間で送受信できます。



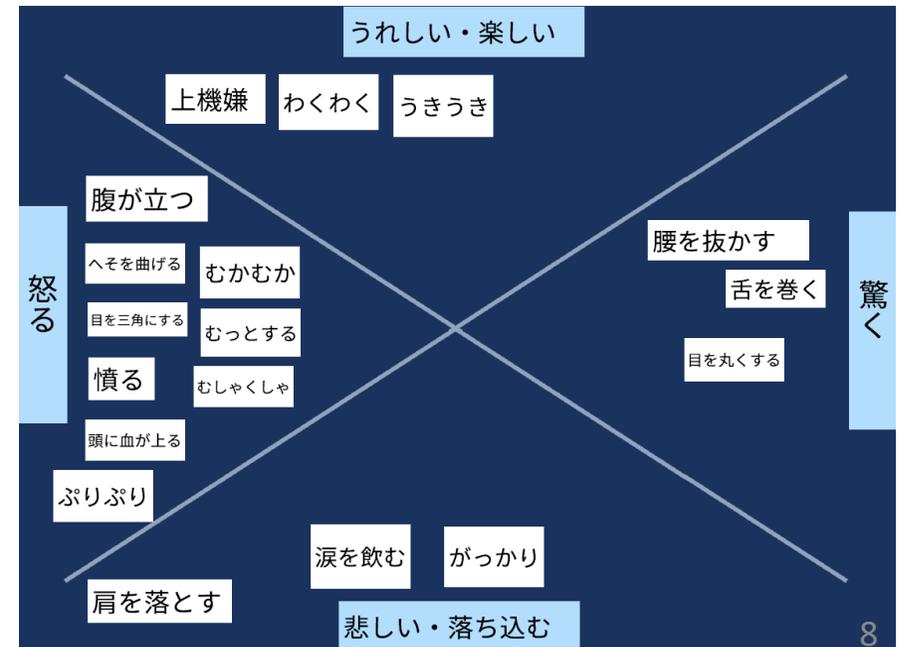
# ロイロノート・スクールの実践

## 「シンキングツール」で思考を可視化

例2



シンキングツール上に「カード」を動かして同じ意味でグループ化



# ロイロノート・スクールの実践

## 長期休業中の 学習計画表

<生徒>

学習計画表に一日の家庭学習  
時間を記入



タブレットで撮影



撮影した画像をロイロノートス  
クールを使って毎日提出

<教員>

学習状況をリアルタイムで把握



未提出者へロイロノートで連絡

The image displays a grid of 12 screenshots from the Royoro Note app, arranged in three rows and four columns. Each screenshot shows a student's learning plan table with handwritten entries. The first row shows students A, B, C, and D. The second row shows students E, F, G, and H. The third row shows student I, teacher A, and teacher B. The teacher A screenshot shows a notification for a student who has not submitted their plan for 4/2 days. The teacher B screenshot shows a notification for a student who has submitted their plan for 4/6 days but has not yet submitted for the day of 4/6 (Friday).

生徒A 生徒B 生徒C 生徒D

生徒E 生徒F 生徒G 生徒H

生徒I 教員A 教員B

終了

編集 信止

・4/2 生徒  
日付の記入忘れについて

生徒  
すでに4/6(金)の学習結果が届いていますが、おかし  
くないですか？

# ロイロノート・スクールの**効果**



# ロイロノート・スクールの効果

## Before

- 聴覚口話や手話によって、やりとりがたまにありまちな部分がある。
- プリントや提出物の管理が大変。
- ワークシート等教材準備に時間がかかる。
- 聾学校は少人数なので、様々な人の意見を聞くことができない。

## After

- 文字を使った確実なやりとりが可能になった。
- データ管理・ペーパーレス化の実現。
- 教員間で教材の共有。授業準備時間の短縮。
- 感想や意見のカードをそのままデータ保存しておくことで、先輩の感想や意見を参考にできる。

